

九州地区



元野明

九州区代表

●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・ビブリオ バトルかごしま
- ・古民家×ビブリオバトル
- ・りぶりオバトル

2014年度 活動報告書

元野 明 (九州地区・鹿児島)
ビブリオバトル普及委員会九州地区代表
080-6416-9180
bbkagoshima@gmail.com
<http://bb-kagoshima.jimdo.com/>



2011年に「ビブリオバトルかごしま」を結成。鹿児島国際大学を拠点に県内でビブリオバトルを開催。月に1度のビブリオバトルを開きながら、首都決戦地区予選の運営と県内外の公共図書館・高校・大学等へのビブリオバトル指導・開催支援を行った。2012、2013年度は鹿児島国際大学の教養科目「教養特講I」でビブリオバトルを用いたイベント開催ノウハウを教えた。

◆ 2014年度の活動

- 4/26 「ビブリオバトル in 石橋記念公園」開催
- 6/21 「つゆびぶりお in ミスト」開催
- 8/23 「のみかいびぶりお」開催
- 9/6 「ミニビブリオバトル in 龍門祭」参加・開催支援
- 10/25 「第2回谷山北公民館ビブリオバトル」参加・開催支援
- 11/3 「第3回ビブリオバトル in 始良私立中央図書館」参加・開催支援
- 12/20 「忘年会びぶりお」開催
- 3/7 「第3回南日本文学賞公開選考会ビブリオバトル」開催
- 3/22 「はるびぶりお」開催予定



活動報告書

元野 巖(九州地区)
連絡先 鹿児島市立清和小学校
motonoiwao@gmail.com



● 2013年6月27日(水) 第1回清和小学校読書クラブ ミニビブリオバトル大会開催

(詳細) facebook より抜粋

清和小の読書クラブは、総勢26名です。1学期の最初から

「ビブリオバトルって面白いよ～ やってみたいか～」

と、言い続けてきました。

「遊びなんだから、気楽に自分が読んで面白かった本を友達に紹介すればいいんだよ。」

「先生も、大人のビブリオバトルに行くようになって、読んだことなかった本をいっぱい知ったよ。」

読書クラブに来てる子どもたちだから、みんな本は好きです。でも、みんなの前で話をするのが、「敷居が高い」のです。だから、「気楽に～」とか「遊びなんだよ～」とか、いっぱい話しました。そして、妻の手書きの毛筆の『賞状』も準備しました。チャンプ本の賞状だけでなく、「参加賞」も作り、モチベーションを上げました。

先週のクラブでは、私が「巖窟王」を使って、ビブリオのお手本？をやってみました。それで、やっと3人のバトルが現れました。初めてにしては上等だと思っています。

4年生の女の子が、じゃんけんで勝って1番を取りました。明るくて元気な子です。紹介本は「4年1組ミラクル教室シリーズ～大きくなったら何になる～」でした。

「俳句好きのおじいちゃんの孫が主人公で、4年1組のみんなが将来の夢を文章に書いて、いろいろな事件が起こるんです。」

まで言って、詰まってしまいました。私が、「どんな事件？」「何が面白かったの？」と、助け舟を出したところ、

「おじいちゃんが死んじゃったり、…」

やっと、口が滑らかに動き出しました。発表時間の3分をなんとか使い切りました。子どもたちの感想には、

「私は事件が好きなので、たくさん事件があって面白そうなので1番にしました。」「みんなが大きくなって、何になりたいか知りたい。」「どんな事件が起こるのか、気になる。」などがありました。

2番は、5年生の女の子で、本当に授業中はほとんどしゃべらず、声も「蚊の鳴くように」小さい子でした。本は「マジックツリーハウスシリーズ～愛と友情のゴリラ～」。何と、本はすでに返却して

いて手元にないということで、司書補がパソコンで探してくれたのですが、貸し出し中。初めてなのに「エアビブリオ」になってしまいました。それなのに彼女は、この本のあらすじを、大きな声でどんどん話し始めました。引っ掛かった時は、私が助け舟を出しました。子どもたちの感想は、「マジックツリーハウスの中にある本を開いて、ここに行きたいと言うだけで、どこでも行けるのはすごい！」「ピラミッドに行って、いろんな仕掛けがあったり、幽霊が出てきたりと言ったところが面白そうで、読みたい。」「本がないのに、ちゃんと説明できていた。」「とても読みたくなった。」などでした。

3番の子も5年生で、ほとんどしゃべらないおとなしい子でした。

本は「不思議の国のアリス」。この子も、大きな声で、一生懸命に本の面白さを話し始めました。またまた、びっくりしました。子どもたちの感想は、「トゲを持ったうさぎ？ クッキーを食べるとアリスが大きくなる？ 小石を食べたらアリスが元に戻った？ 不思議！」「もっと知りたい。」「読んだことがあったけど、面白そうだった。改めて読みたくなった。」などでした。

チャンプ本は、2番の子でした。15票獲得。賞状をもらって、うれしそうでした。

私がうれしかった感想がたくさんありました。「読んでみたい！」「読んでみたい！」がたくさん！そして「2学期にもあるなら、私も出てみたいです。」が一人。この子も、すごくおとなしい子です。ミニビブリオバトルを開催して、とてもよかったです。私が1年間、算数を教えてきた中では決して見ることの出来ない、子供達の新しい「顔」を見ることが出来ました。



● 2014年6月18日(水) 第2回清和小学校読書クラブ ミニビブリオバトル大会開催
(詳細) facebook より抜粋

参加者は、

- 1番、元野教諭「三国志」
- 2番、5年男子「ピリカ お母さんへの旅」
- 3番、4年男子「黒魔女さんシリーズ0巻」

小学生用のルールに則り、3分間のプレゼンと2分間の質問タイムとしました。元野教諭は、3分間の短さに困惑しながら、孔明の格好良さを語りました。5年男子は、サケのピリカの一生を描いた絵本を、初めて知ったことや感動したことを交えて、一生懸命紹介しました。4年男子は、黒魔

● 2015年2月23日(月) 第1回清和小学校図書委員会 ミニビブリオバトル大会開催
(詳細) facebook より抜粋

清和小学校では、読書クラブで昨年度から学期1回ミニビブリオバトルを行ってきました。図書委員会主催での実施は初めての挑戦でしたが、司書補が頑張って企画し、子どもたちと話し合って計画を立て、役割分担などを決めて取り組んでくださいました。広報のポスター作り、投票用紙作成、集計、賞状準備などは子どもたちで分担しましたが、ある程度の慣れが必要な司会は、元野がやりました。

場所は、図書室だと机がたくさんあり、バトラーと聴衆の距離ができてしまうので、図書委員会担当の先生の教室を使い、机や椅子を横に寄せ、聴衆は床に座った形で実施することにしました。図書委員会担当の先生の娘さんの中学校ではビブリオバトルに取り組んでおり、娘さんも大好きなのだそうです。

バトラーは4名でした。図書委員会から3名、読書クラブから1名です。読書クラブから参戦した子どもは、今回で3度目のミニビブリオバトルですが、他の3名のバトラーは初めての経験ですので、一番緊張するトップバッターは読書クラブの子どもが引き受けてくれました。後はじゃんけんで順番を決めました。

紹介された本は以下の通りです。

- 1 5年男子
「Monsterホテルでプレーボール」作: 柏葉幸子 絵: 高島純
- 2 5年女子
「パンダのポンポン クッキーオーケストラ」作: 野中柊
- 3 5年女子
「怪談レストラン ナビ魔」作: 松谷みよ子
- 4 5年女子
「ルルとララのカップケーキ」作: あんびるやすこ

6年生も紹介したがっていたのですが、残念なことにこの日はキャリア教育が計画されており、外部講師が来ていたので早めに集合しなければならず、紹介できませんでした。

どのバトラーも、緊張した中で精一杯プレゼンしてくれました。3分間の持ち時間を全部使い切り、一生懸命語ってくれました。2分間の質問タイムでは、特に低学年からたくさん質問が出ました。シリーズ物の本がほとんどだったので、そのシリーズの他の本はどのようにおもしろいのか、図書室にはあるか、なぜその本を読もうと思ったのか、どの場面が一番好きか、などの質問が出ました。

投票結果は割れました。1番～14票、2番～16票、3番～11票、4番～17票、で、チャンプ本には、4番の「ルルとララのカップケーキ」が選ばれました。子どもたち手作りの賞状を受け取って、4番の子はとてもうれしそうでした。残念ながら負けてしまった子たちは、異口同音に「くやしかった。また出たい。次は勝ちたい。」と言っていました。

平成26年度ビブリオバトル普及委員活動報告

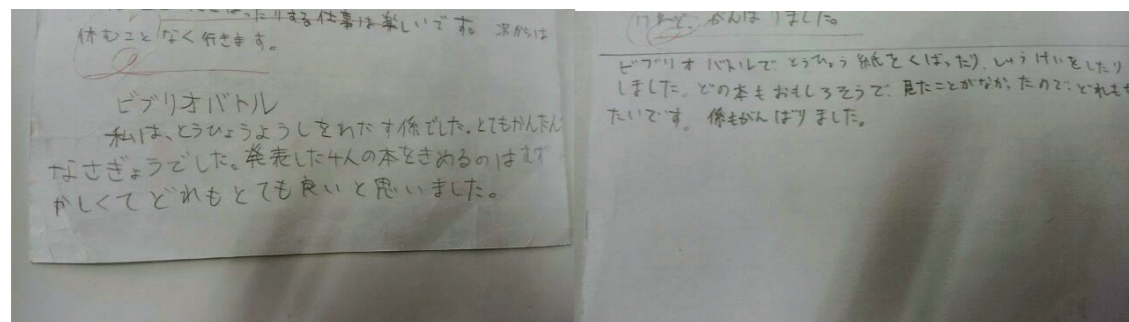
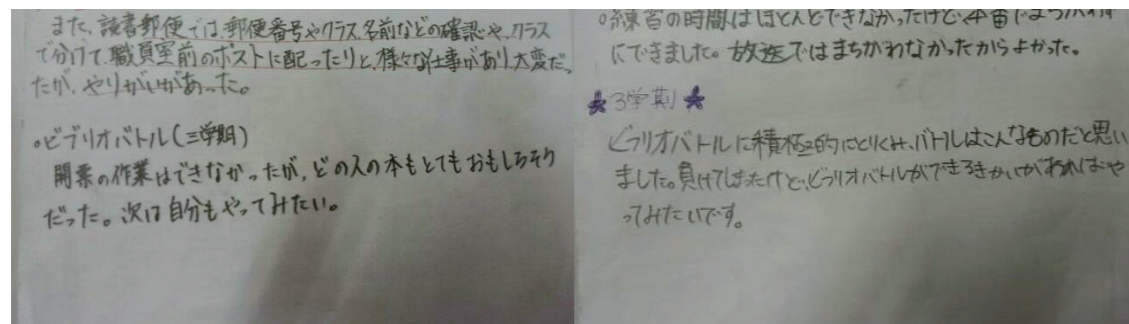
図書委員会の子どもたちも、反省に「自分も出なかった。」「楽しかった。」など書いてくれました。その日の放課後、さっそく低学年の子どもたちが図書室に来て「今日のビブリオバトルで出た本はありませんか。」と尋ね、借りていっていました。

鹿児島県の小学校の教職員の間では、ビブリオバトルという言葉自体の知名度はまだ低いです。しかし、2年続けて初任校研修の中でビブリオバトルが取り上げられるなど、少しずつ広がろうとしているところだと思います。

これまで、読書クラブという、ある意味「閉じた空間」の中でのビブリオバトルでしたが、今回は「図書委員会のイベント」だったので、ポスターなどの広報活動の結果、興味を持った先生方も数名参加して下さっていました。先生方も初めてのビブリオバトル体験で、「発表者の子どもたちは、よく3分間原稿も見ずに話していましたね。」「聞いていた子供たちもとても楽しそうで、たくさん質問が出ましたね。」などの感想を寄せて下さいました。

これからもまた、少しずつ実践を繰り返していきたいと思います。

赤峰 稔朗 あかみね としあき
九州北部地区
kominkabiblio@gmail.com



- 2014年2月 福智町図書室「ふくちでビブリオ」スタートアップ支援
- 2014年2月 ライブラリーフェスティバル長崎県大会 研修講師
- 2014年8月 筑豊教育事務所 平成26年度筑豊地区読書活動推進セミナー講師
- 2014年8月 長崎県立波佐見高等学校 文芸部 ビブリオバトルの講演とワークショップ
- 2014年12月 ビブリオバトルシンポジウム パネルディスカッション
地域コミュニティ パネラー参加
- 2015年2月 福岡県・文科省主催 図書館地区別研修(九州・沖縄地区)
利用者参加型のイベント～ビブリオバトルを中心に～講師
- 2015年3月 第10回 古民家xビブリオバトルin 河伯洞
後援：北九州市教育委員会



2014 年度活動報告書

氏名 : 林鉄郎 (九州地区福岡)

連絡先 (090-9471-8576)

主な活動場所

書齋リーぶる

<http://shosai-livre.com/>

古民家イノベーションプロジェクト



2014年5月24日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催

2014年7月19日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催

2014年8月30日小郡市中学生読書活動サポーター養成講座 (第一回)

ビブリオバトル講師

2014年9月6日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催

2014年9月9日小郡市中学生読書活動サポーター養成講座 (第二回)

ビブリオバトル講師

2014年11月3日天神イムズとなりの本棚展 ビブリオバトル主催

2014年11月15日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催

2014年12月13日ビブリオバトルシンポジウム 地域コミュニティパネリスト参加

2015年1月13日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催

2015年2月4日久留米市学校図書協議会ビブリオバトル講習講師

2015年2月17日福岡県立図書館「本の楽しさおとどけ便」ビブリオバトル講習講師

2015年3月1日第10回古民家 × ビブリオバトル 開催サポート

2015年3月21日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催予定